

ゆう ざ の き
番 寓座之器

《学校だより》 第7号

令和7年12月19日発行

小田原市立千代中学校
校長 中村 栄江

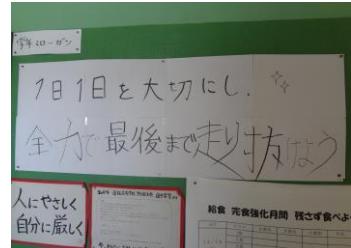
3年 校長面接～一日を大切に過ごす

グラウンドから見える富士山の姿が、日に日に冬らしく見えます。キーンと張り詰めた外気に触れ、背筋が伸びる思いです。10月から始めた3年生との校長面接が一段落しました。入試対策というよりも、3年生がどのような思いで3年間を過ごし、卒業後の姿をどう思い描いているのか、自己の成長をどうとらえているか子どもたちの声を直接聞くことは私にとってはとても楽しい時間でした。たまに思いがけない話題に発展し、隠れた特技を知ることもあって、わくわくする3か月でもありました。起床の促しやいつもより早めの朝食準備など、保護者の方にもご協力いただきました。ありがとうございました。

3年生の回答から感じたこと

Q 中学校生活で一番思い出に残っているもの(ことは)は?

飛びぬけて多かった回答は、修学旅行。何かを見たというよりも、仲間と宿泊したり、長時間おしゃべりしたりして過ごした時間が楽しかったのだそうです。見学先で言うならば、清水寺を挙げる人が一番多いようでした。舞台から見た景色がとてもきれいだったそうです。



Q 卒業後の進路は?

就きたい仕事まで明確に思い描いている人もいれば、今は未定でこれから決めるという人もいて、それぞれです。進学先については、決定条件として立地や学力を挙げる人が多いようでしたが、先輩や家族の影響も少なくないようです。お金を貯めるため、親を助けるため、将来の勉強のためにアルバイトをしたいという人も多く、堅実さが伝わる回答がみられました。

Q 家の手伝いはしている?

千代中生は、家でも頑張っています。皿洗い、食器並べ、洗濯物をたたむ、風呂掃除などと回答した人が多かったように思います。家族で分担があって行っている人もいるし、自主的に気づいたらやるという人もいました。普段いろいろしてもらっているから、できることをやっているという意見もありました。照れくさくて口には出せなくても、家人への感謝の気持ちはしっかりとっている、心優しい子どもたちの姿が見えました。

Q 千代中は楽しかった?千代中で良かったと思う?

「楽しかった」と回答した人が多く安心しました。みんなが優しくて楽しいと答える人が多いようでした。辛かったこと、苦しかったことも周りの人々に支えられて乗り越えられた……と、自らの成長を実感できた人もいました。年が明けると、受験(受検)等で全員がそろう日が少なくなり、「卒業」を意識することが増えてきます、何気ない毎日を大切にして、元気に、前向きに生活していきましょう。



地域の方に支えられた学習活動

1学年



小田原版STEAM学習の一環として、総合的な学習の時間に地域の方をお招きし、探究的な学習活動に取り組みました。農家の方の困りごとから、課題は「ジャンボタニシ掃討作戦」にあると認識。解決策としてプロトタイプ(試作品)やまとめのスライドを作成し、講評をいただきました。



地域の方からは、農業について真剣に考え、地域の課題を自分事として考える子どもたちに期待の声もあがりました。

2学年

先月実施した職場体験学習の学年発表がありました。受け入れにご協力いただいた事業所は、50か所以上になります。仕事をすることの大変さ、難しさだけでなく、あいさつやコミュニケーション、チームワーク、臨機応変な対応と働くために身につけるべきスキルを理解することができました。また、社会参画への意識が高まり自分の進路を考えるきっかけとなったことがうかがえます。



3学年

1年生同様、小田原版STEAM学習として地域農業をテーマに、梅農家さんの困りごとに注目しました。後継者不足や販売・管理の難しさ、害虫の被害などの課題解決に迫り、まとめの発表を行いました。

若い人たちが関心を持てるようにならの梅をどうアピールするか、SNSでの発信やモニュメントの設置、ライトアップなどの案の中には、すでに考えられてはいるが形になっていないものもあるとのこと。地域の方からは、梅祭りの時期が受験と重なってしまい、活動が継続できないことが残念。今回の活動を次の学年に引き継ぎ、継続的な取り組みになると良いとの言葉をいただきました。

